

小学校第3学年 国語科 学習指導案

期 日 平成24年10月23日(火)第5校時

場 所 山鹿市立山鹿小学校 3年3組教室

指導者 教諭 益田 裕子

1 単元名

「せつめいのしかたを考えよう」 教材文 すがたをかえる大豆

「れいをあげてせつめいしよう」 教材文 食べ物のひみつを教えます (光村図書)

2 単元について

(1) 単元観

教材文「すがたをかえる大豆」では、生活科の学習で育てたことがあり児童にとって身近な植物である大豆が、いろいろな工夫によって姿をかえ様々な食品になっていることを、具体例を挙げながら説明してある。この教材文での学習を通して、説明の中心となる文を見付けたり、筆者の説明の仕方の工夫に気付いたりすることができるように設定されている。続いて、「食べ物のひみつを教えます」という教材が示されており、「すがたをかえる大豆」で学習した説明の仕方をいかして、自分が調べたことを文章に書くという配列がなされている。

そこで、本学習においては、第3学年及び第4学年の内容「C 読むこと」の指導事項イ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。」と、「B 書くこと」の指導事項ウ「書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。」を関連付けて学習するという単元の構成を行った。そして、これらの指導事項を身に付けさせるために、「食べ物のへんしん図かんを作る」という単元を貫く言語活動を設定することにした。このことにより、児童にとっては「読むこと」と「書くこと」がつながりを持ち、児童自らが学習のゴールを見据えた学習活動の展開が可能となると考えた。

(2) 系統観

2年(11月)	3年(5月)	3年(10月)本時	3年(11月)	3年(1月)
読んで、せつめいのしかたを考えよう しかけカードの作り方 C読むこと(1)イ (2)ウ	読んで、かんそうをもとう イルカのねむり方 ありの行列 C読むこと(1)イ (2)ウ	せつめいのしかたを考えよう すがたをかえる大豆 C読むこと(1)アイ (2)ウ	れいをあげてせつめいしよう 食べ物のひみつを教えます B書くこと(1)イ (2)ウ	かるたについて知ろう かるた C読むこと(1)イ (2)ウ

(3) 児童観

○本学級の児童は男子19人、女子17人の合計36人である。

○本単元に関する児童の実態(7月末での調査結果 34人)は以下の通りである。

	ア	イ	ウ	エ	
	ア あてはまる				
	イ どちらかといえばあてはまる				
	ウ どちらかといえばあてはまらない	ア	イ	ウ	
	エ あてはまらない			エ	
	(人)				
1	説明文を読むときに、大事な言葉や文はどれか考えながら読んでいる。	13	8	12	1
2	説明文で、形式段落ごとに番号を付けることが一人でできる。	30	3	0	1
3	説明文を「はじめ・中・終わり」の三つに分けることが一人でできる。	26	7	1	0
4	段落ごとに、書かれている内容を短くまとめることができる。	8	11	10	5
5	学習した説明の仕方を、その後、文章を書くときに使っている。	12	13	8	1
6	自由な時間に、教科書の説明文と関係のある本や図鑑を読んでいる。	15	10	3	6

上記の表から、「大事な言葉や文はどれかと考えて説明文を読むこと」については学級の6割の児童ができると答えている。また「文章全体をはじめ・中・終わりの三つに分けること」については9割を超える児童ができると答えている。一方、「段落ごとに、書かれている内容を短くまとめること」については、できると答えている児童は少ないが、この内容(説明の中心となる文を見つけ、内容を短くま

とめること)は、本単元の学習が初めてであり、未習の内容である。

(4) 指導観

- 既習の知識や技能を使う場面を意図的に設定することにより、指導事項の確実な習得を図る。
- 単元を貫く言語活動として、「食べ物のへんしん図かん」作りを位置付け、作った図かんを図書室に置いて他学年に紹介するという学習のゴールを設定することにより、目的意識や相手意識を持つことが可能になる。そして、紹介する図かんを作るために、本や資料を使って調べ、例を挙げて説明する文章を書く必然性が生まれてくる。
- 本時では、「中」で示されているおいしく食べる工夫が、どのような順序で書いてあるかを考える学習活動を行い、それを次時以降の「食べ物のへんしん図かん」作りにおいて例を挙げて説明する文章を書く学習にいかしていく。

Aプロジェクト 思考力、判断力、表現力等の育成の視点から	
<p>本単元で高めたい思考力、判断力、表現力等は、例を挙げて説明する力であると捉える。どんな例を、どのような順序で挙げていけば分かりやすい説明になるかを考えさせたい。</p> <p>既習の知識や技能を使う場面として、第3学年「ありの行列」で行った「はじめ・中・終わり」という文章構成に全文を分ける学習や、順序を表す言葉に着目した学習を想起させながら、例の挙げ方を学ぶようにする。そして、「食べ物のへんしん図かん」作りを行うことを通して、今後の学習や生活の中で例を挙げて説明することができる力を身に付け、生活の中で生きてはたらく力としたい。</p>	

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。 ○内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読むことができる。 ○構成や段落相互の関心に注意しながら、文章を書くことができる。
国語への関心・意欲・態度	①文章の内容に関心をもち、文章構成を理解しながら読もうとしている。
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ①中心となる文や大事な言葉に気を付けて音読している。(1)ア ②「問い」の形をとらない話題提示があることを理解し、中心文を確かめながら説明されていることを整理している。(1)イ ③「はじめ・中・終わり」の構成に注意し、「中」に書かれた具体例を整理しながら読んでいる。(1)エ
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ①書く目的によって必要になる事項と観点を理解し、取材している。(1)ア ②「中」の部分で内容のまとまりごとに段落を分け、文章を構成している。(1)イ ③必要に応じて理由や事例を挙げて書いている。(1)ウ ④自分の書き方と人の書き方を比べ、上手に説明しているところに気付くことができる。(1)カ
言語についての知識・理解・技能	①文章中の表現や言葉に注目し、辞書を使って調べている。(1)イ(カ)

4 指導・評価の計画 (13時間取扱い 本時5/13)

次	時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ※プロジェクトの視点から	評価基準 (評価方法)
1	1	○「食べ物のひみつを教えます」を読み、調べたい食べ物を複数決め、どんなことを調べるか見通しを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたい食べ物を決める際は、調べようとした理由をはっきりとさせる。 ・「食べ物のへんしん図かん」実 	関心・意欲・態度① (発言) 「食べ物のへんしん図かん」を作ることに関心をもち、文章構成を理解しながら読もう

	2	○学習課題「食べ物のへんしん図かんを作ろう」を設定し、学習計画を立てる。	物を提示し学習のゴールを示す。 ・環境作りのため、関連する本を事前に展示しておく。	としている。
2	3	○「すがたを変える大豆」を読み、初めて知った事をワークシートに書いて発表する。 ○「はじめ」「中」「終わり」に分け、文章全体の組立てを捉える。	※5月教材「ありの行列」で行った「はじめ」「中」「終わり」に分けるとい学習を想起させる。	読む能力③（発言、ワークシート） 「はじめ・中・終わり」の構成に注意して読んでいる。
	4	○「はじめ」の部分に、文章全体にかかる「問い」を入れる。	※5月教材「ありの行列」で行った「問い」と「答え」に見つけるという学習を想起させる。	読む能力②（発言、ワークシート） 「問い」の形をとらない話題提示があることを理解し、文章で説明されていることを整理している。
	5 本時	○段落の順序や中心になる文を確かめながら読む。	・接続語に注目して段落の順序を確かめたり、具体例を整理したりさせる。 ※5月教材「ありの行列」で出てきた「はじめに」「次に」という接続語の学習を想起させる。	読む能力③（発言、ワークシート） 大事な言葉や文に着目して、筆者の工夫を考えながら読んでいる。
	6	○言葉の使い方に注意して、分かりやすい文の書き方について考えながら読む。	・接続語や文末表現に着目して読ませる。 ・「にる」「いる」などの調理するときの言葉に着目させる。	言語についての知識・理解・技能①（発言、ワークシート） 文章中の表現や言葉に注目し、辞書を使って調べている。
	7	○授業と並行して読んできた本の中から、紹介したい食材がどんな食品にすがたをかえているか書き出す。	・すがたをかえた食品名だけでなく、おいしく食べる工夫も書き出させる。	読む能力①（ワークシート） 選んだ食材がどんな食品に姿をかえているか読み取っている。
3	8 ～ 12	○書き出したことから一つの題材を選び、図書資料で調べて構成メモを作成する。 ○短い文章に書き表す。 ○二つ目、三つ目の題材についても調べ、それぞれ短い文章に書き表す。	・付箋を利用しながら調べ学習をさせ、必要な事柄だけをカードに書き出させる。 ・「すがたをかえる大豆」で学習した構成や接続語などを参考にさせる。	書く能力①（メモ） 必要な事項と観点を理解し、取材している。 書く能力②（ワークシート） 「中」の部分で、内容のまとめごとに段落を分けて構成している。 書く能力③（ワークシート） 必要に応じて理由や事例を挙げて書いている。
4	13	○短い文章にしたものを集め一冊の本にまとめる。 ○互いに評価し合う。	・互いに読み合い、よいところを見付けさせる。	書く能力④（発言、ワークシート） 自他の書き方を比べ、上手に説明しているところに気付いている。

5 本時の学習

(1) 目標

「中」の段落に示された具体例を読み取り、説明の仕方の工夫を見付けることができる。

(2) 評価基準

「読む能力③」（発言、ワークシート）

（B基準）接続語や中心となる文に着目して、説明の仕方の工夫を見付けている。

（A基準）接続語や中心となる文、具体例の挙げ方に着目して、説明の仕方の工夫を見付けている。

(3) 展開

過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 ※Aプロジェクトの視点	備考
導入 5分	1 本時の課題を確認する。		○これまでの学習を振り返り、「中」の段落は第③段落から第⑦段落であったことを確認する。	
	「中」をくわしく読んで、筆者のせつめいのしかたの工夫を見付けよう。			
展開 30分	2 ばらばらになった5つの文章（第③～第⑦段落）を並べ替え、説明の仕方の工夫を見付ける。 (1)短冊を並べ替え、順番とその理由を考える。 【個人→一斉】 (2) 第⑤段落と⑥段落を入れ替えてもよいか話し合う。 【ペア→一斉】 (3) 中心となる文をさがす。 第③段落 【一斉】 第④～⑦段落【個人】	○「中」を段落ごとにまとめてきたのですが、順番が分からなくなっていました。教科書に書かれていた順番に並べてください。また、順番を付けた理由も説明してください。 ○第⑤段落と⑥段落を入れ替えてもよいのではないのでしょうか。 ○筆者は、どうしてこの順番で説明していったのでしょうか。 ○第③段落を音読するとき、強くはっきり読みたい文を見付けましょう。 ○第④～⑦段落についても大事な文を見付けて、教科書に線を引きましょう。 ○大事な文は、段落のどこにあるのでしょうか。 ○筆者は、すがたをかえる大豆の説明で、どんな工夫をしていましたか。 ○本時の学習で見付けた説明の工夫をワークシートにまとめましょう。	※（Aプロジェクトの視点） ○5月教材「ありの行列」を想起させ「次に」「また」「さらに」という接続語に着目させる。 ○順番を入れ替えても説明できるのではないかと問いかけ、児童の思考をゆさぶる。 ○ちがう食品にするために必要な時間と具体的な食品名に着目させる。 ○前時に学習した「かくされた問い」から「くふう」という言葉に着目させる。 ○第④～⑦段落の中心となる文を発表させた後、全体で確認する。 ○中心となる文は各段落のはじめに書いてあることに気付かせる。 ○学習前に予想した食品の順序と教科書の順序を比較させ、例の示し方の工夫に気付かせる。	教科書 ③～⑦ 段落の 拡大 児童用 の短冊 食品の 写真
整理 10分	3 学習のまとめをする。	○筆者は、すがたをかえる大豆の説明で、どんな工夫をしていましたか。 ○本時の学習で見付けた説明の工夫をワークシートにまとめましょう。 ○今日学習した第③～⑦段落を読みましょう。中心となる文は強く読んでみましょう。	評価：読む能力③（発言、ワークシート） B：接続語や中心となる文に着目して、説明の仕方の工夫を見付けている。 〈B基準に達しない児童への手立て〉 接続語や中心となる文を児童と一緒に確認する。 ○学習したことの共有化を図る。	予想した順序

